

評価シート

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>職員研修（町主催）については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、開催時期がずれるなどの影響がありましたが、当初予定していた研修はすべて実施することができました。また、自主研修については、制度を改めて案内したことにより、令和2年度は2名の職員（公認心理師の資格取得のための講座受講）に対する助成を行い、職員の自己能力の向上のための支援ができました。 宿泊を伴う研修については、受講申込み後に新型コロナウイルス感染拡大の影響によって研修が中止になるなど、令和2年度は研修参加者がいない状況となりました。</p>			
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>行政における事務やサービスが高度化、複雑化してきており、それらに対応するため、職員向けの研修機会を充実させていくことが必要であると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>人事担当課では、定時退庁日の定時退庁の徹底、通常業務の効率化の推奨やタイムマネジメントの意識付け等により、職員の時間的な余裕が必要であると考えています。そのためには、増加傾向にある時間外勤務をシステム等で管理し、所属長や職員自身の時間外勤務の縮減に対する意識付けを行うとともに、年次有給休暇（年5日取得は必須）の取得促進の周知徹底を行っていきたいと考えております。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 職員の業務に対する意識を改革することで、時間的な余裕の確保を図りたいと考えます。また、内部研修では各課と連携するなど研修内容を充実させるとともに、外部研修では積極的に参加を促すなどの取組を行いたいと考えます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和3年度の職員研修（町主催）は、タイムマネジメントの研修を予定しており、仕事の進め方を管理する方法を学ぶことで、業務の効率化や計画的な業務の遂行が期待できることに加え、時間の使い方を管理できるようになることで、研修参加者の増加につながると考えます。				
	指標（予定）	-			
		-			
		-			
		-			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>毎月の部長会をはじめ、各課題に対する担当課主催（内訳下記のとおり）の会議を開催し、課題解決に向けた協議、検討を行いました。また、総合計画・総合戦略の内部検証委員会については、取組内容についてPDCAサイクルを活用した検証（9日間）を行うことで、改善を図りながら効率的・効果的に取組を進めることができたと考えます。</p> <p>【主な担当課主催会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上牧町学校適正化に向けての研修会（教育総務課） ・上牧町バリアフリー基本構想庁内検討委員会（まちづくり創生課） ・公共施設等マネジメント検討会議（総務課） ・部課長会議（総務課） ・予算編成説明会（総務課） ・上牧町総合計画・総合戦略内部検証委員会（政策調整課） ・新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金関係会議（総務課） ・日本郵便との包括連携協定締結に係る調整会議（政策調整課） ・上牧町新型コロナウイルス感染症対策本部 				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>行政における事務やサービスが高度化・複雑化してきており、それらに対応するため、関係各課と連携した横断的な検討・協議が必要と考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>現在取り組んでいる分野以外においても、さらなる行政サービスの向上に向けて、部局間連携によって改善できる余地はあると思いますが、会議等に参加する職員の時間的な拘束や日程調整する事務等を考慮すると、実施方法や環境整備等について、効率化を図っていく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染症対応として、WEB会議システムの開発も進んでいることから、費用負担なく簡単に利用できる会議システムについて調査・研究を行います。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和2年度に引き続き、部長会や担当課主催での会議で横断的な組織を編成し、各種内容を検討していきます。				
	指標（予定）	—			
		—			
		—			
		—			
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	財政情報の公表		実績（値） 4回
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>総合計画の実施計画である中長期財政計画の見直しを実施しました。また、予算決算の情報についても、議会開会日には、窓口への資料備え付け、ホームページ掲載等、住民の方にも広く知っていただけるよう取組を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の前期実施計画としての中長期財政計画の更新については、策定の後、議会への説明を行いました。（R3.3） ・新地方公会計制度による財務書類の作成を3月までに行い、住民向け資料の作成を行いました。（R3.3） ・町の財政状況について、予算編成の際に、県の報道資料により各課へ説明を行いました。（R2.11～12） ・財政情報のホームページ掲載への掲載4回（当初予算概要・決算成果・中長期財政計画・財務書類の概要） 				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B.現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C.減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>近年、人口減少対策、社会保障経費、公共施設の修繕等、様々な課題があり、大変厳しい財政状況ですが、今後も住民ニーズとして効果的・効率的な行政運営が求められることが予想されます。そこで、職員一人ひとりの予算に対する理解を深め、予算執行及び予算編成時における職員の意識改革が求められます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C.見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>総合計画の実施計画である中長期財政計画の必要性を職員一人ひとりが認識し、より精緻な財政計画を策定するためには、課ごとの詳細な計画の策定が必要不可欠であり、説明会等を実施し、計画的な事業執行の意識付けを進める必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>中長期財政計画の策定にあたっては、照会、取りまとめ、計画作成から公表時期までの期間が長く、実際の予算の動向との乖離が大きいため、できる限り短時間で作成できるよう、様式の工夫や照会スケジュールを再度見直す必要があります。</p>			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	中長期財政計画の策定（見直し）については、短時間で作成できるよう、様式の工夫や照会スケジュールの見直しを行いながら実施する予定です。				
	指標（予定）	KPI	経常収支比率	98.2%	
		独自	財政情報の公表	4回	
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																			
	独自の指標①	差押の件数		実績（値） 96件																																																																																			
	独自の指標②			実績（値）																																																																																			
	独自の指標③			実績（値）																																																																																			
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																																						
	<p>財産調査を行う際に、財産が見つかる可能性が高いものは預金と給与の2つであり、重点的に調査を行いました。預金で346件、給与で50件の調査を行いました。</p> <p>調査後、差押を行いました。その件数は給与で12件、預金で84件でした。差押の前に差押予告通知を送付したことで納付されたり、給与差押通知書が届いたと会社・滞納者から連絡を受け、早期の納付を条件に差押を一時保留し、完納されるケース等もあり、これらについては差押の件数に含まれませんが、財産調査等を行っていただければ納付されることがなかった、または納付がさらに遅れていたものと考えられます。</p> <p>また、国民健康保険喪失の手続きをしていないために発生していた滞納分について、7件314,600円を減額することが出来ました。さらに令和2年度から町内227件、町外12件の現地調査も精力的に取り組み、現地で滞納者に説明及び催告を行うことで、現地調査後に、9,528,000円の納付につながりました。</p>																																																																																						
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																																						
	【主要な債権の照会・差押】 (単位：円)																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">R01</th> <th colspan="3">R02</th> <th colspan="2">前年度との比較</th> </tr> <tr> <th>照会件数</th> <th>差押件数</th> <th>換価金額</th> <th>照会件数</th> <th>差押件数</th> <th>換価金額</th> <th>差押件数</th> <th>換価金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与</td> <td>116件</td> <td>22件</td> <td>2,658,750</td> <td>50件</td> <td>6件</td> <td>1,936,950</td> <td>-16件</td> <td>-721,800</td> </tr> <tr> <td>預金</td> <td>312件</td> <td>79件</td> <td>5,754,478</td> <td>346件</td> <td>96件</td> <td>6,394,353</td> <td>17件</td> <td>639,875</td> </tr> <tr> <td>年金</td> <td>21件</td> <td>5件</td> <td>971,450</td> <td>25件</td> <td>9件</td> <td>2,004,750</td> <td>4件</td> <td>1,033,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>不動産の差押（令和元年度2件、令和2年度9件）や生命保険（令和元年度4件、令和2年度12件）、その他携帯電話等（令和元年度10件、令和2年度116件）の調査等も行っていきます。</p>						R01			R02			前年度との比較		照会件数	差押件数	換価金額	照会件数	差押件数	換価金額	差押件数	換価金額	給与	116件	22件	2,658,750	50件	6件	1,936,950	-16件	-721,800	預金	312件	79件	5,754,478	346件	96件	6,394,353	17件	639,875	年金	21件	5件	971,450	25件	9件	2,004,750	4件	1,033,300																																						
		R01			R02			前年度との比較																																																																															
照会件数		差押件数	換価金額	照会件数	差押件数	換価金額	差押件数	換価金額																																																																															
給与	116件	22件	2,658,750	50件	6件	1,936,950	-16件	-721,800																																																																															
預金	312件	79件	5,754,478	346件	96件	6,394,353	17件	639,875																																																																															
年金	21件	5件	971,450	25件	9件	2,004,750	4件	1,033,300																																																																															
【主要な税の徴収率】 (単位：円)																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">R01</th> <th colspan="3">R02</th> <th rowspan="2">前年度との比較</th> </tr> <tr> <th>調定額</th> <th>徴収額</th> <th>徴収率</th> <th>調定額</th> <th>徴収額</th> <th>徴収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">町民税</td> <td>現年</td> <td>1,024,026,848</td> <td>1,015,314,895</td> <td>99.15%</td> <td>1,028,340,819</td> <td>1,021,145,141</td> <td>99.30%</td> <td>+0.15%</td> </tr> <tr> <td>滞納</td> <td>36,130,027</td> <td>10,699,627</td> <td>29.61%</td> <td>28,116,892</td> <td>9,577,921</td> <td>34.06%</td> <td>+4.45%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">固定資産税</td> <td>現年</td> <td>842,859,600</td> <td>806,086,500</td> <td>95.64%</td> <td>851,032,400</td> <td>815,097,947</td> <td>95.78%</td> <td>+0.14%</td> </tr> <tr> <td>滞納</td> <td>179,899,370</td> <td>17,341,527</td> <td>9.64%</td> <td>191,605,843</td> <td>12,410,441</td> <td>6.48%</td> <td>-3.16%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽自動車税</td> <td>現年</td> <td>49,668,600</td> <td>48,690,600</td> <td>98.03%</td> <td>51,447,800</td> <td>50,857,500</td> <td>98.85%</td> <td>+0.82%</td> </tr> <tr> <td>滞納</td> <td>3,413,346</td> <td>1,068,026</td> <td>31.29%</td> <td>2,618,420</td> <td>995,958</td> <td>38.04%</td> <td>+6.75%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国民健康保険税</td> <td>現年</td> <td>423,631,400</td> <td>404,524,900</td> <td>95.49%</td> <td>438,356,100</td> <td>420,618,850</td> <td>95.95%</td> <td>+0.46%</td> </tr> <tr> <td>滞納</td> <td>92,670,543</td> <td>22,796,040</td> <td>24.60%</td> <td>72,882,525</td> <td>25,304,333</td> <td>34.72%</td> <td>+10.12%</td> </tr> </tbody> </table>							R01			R02			前年度との比較	調定額	徴収額	徴収率	調定額	徴収額	徴収率	町民税	現年	1,024,026,848	1,015,314,895	99.15%	1,028,340,819	1,021,145,141	99.30%	+0.15%	滞納	36,130,027	10,699,627	29.61%	28,116,892	9,577,921	34.06%	+4.45%	固定資産税	現年	842,859,600	806,086,500	95.64%	851,032,400	815,097,947	95.78%	+0.14%	滞納	179,899,370	17,341,527	9.64%	191,605,843	12,410,441	6.48%	-3.16%	軽自動車税	現年	49,668,600	48,690,600	98.03%	51,447,800	50,857,500	98.85%	+0.82%	滞納	3,413,346	1,068,026	31.29%	2,618,420	995,958	38.04%	+6.75%	国民健康保険税	現年	423,631,400	404,524,900	95.49%	438,356,100	420,618,850	95.95%	+0.46%	滞納	92,670,543	22,796,040	24.60%	72,882,525	25,304,333	34.72%	+10.12%
		R01					R02			前年度との比較																																																																													
		調定額	徴収額	徴収率	調定額	徴収額	徴収率																																																																																
町民税	現年	1,024,026,848	1,015,314,895	99.15%	1,028,340,819	1,021,145,141	99.30%	+0.15%																																																																															
	滞納	36,130,027	10,699,627	29.61%	28,116,892	9,577,921	34.06%	+4.45%																																																																															
固定資産税	現年	842,859,600	806,086,500	95.64%	851,032,400	815,097,947	95.78%	+0.14%																																																																															
	滞納	179,899,370	17,341,527	9.64%	191,605,843	12,410,441	6.48%	-3.16%																																																																															
軽自動車税	現年	49,668,600	48,690,600	98.03%	51,447,800	50,857,500	98.85%	+0.82%																																																																															
	滞納	3,413,346	1,068,026	31.29%	2,618,420	995,958	38.04%	+6.75%																																																																															
国民健康保険税	現年	423,631,400	404,524,900	95.49%	438,356,100	420,618,850	95.95%	+0.46%																																																																															
	滞納	92,670,543	22,796,040	24.60%	72,882,525	25,304,333	34.72%	+10.12%																																																																															
二一ズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																			
<p>評価の根拠及び理由</p> <p>税の公平性を保つため、滞納者に対して差押等の処分が必要ではありますが、滞納になる前、滞納初期に納税相談等を行っています。分割納付の相談、所得未申告のため国民健康保険税の軽減を受けられていない方に申告を促す、社会保険加入者に国民健康保険喪失の手続きの案内等を行い、滞納税を少しでも納付しやすくなるよう案内を行っています。</p> <p>しかしながら、財政の健全化を目指すにあたり、滞納処分により税金の滞納を減らすことは重要な要素の一つですので、今後においても財産調査や差押等の滞納処分に関する業務に力を入れる必要があります。</p>																																																																																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																																			
<p>評価の根拠及び理由</p> <p>預金や給与等の調査で財産の判明しないもののうち、所有財産があると思われるケースについては、その他の調査の方法や調査先について精査が必要となります。今年度から精力的に取り組んだ現地調査については、大きな納付につながったケースもあり、次年度以降の事業継続及び事業強化を行う必要があります。</p> <p>また、令和2年10月からスマートフォン決済アプリを利用した町税等の収納を始めています。今後は、国の指し示す「地方税におけるQRコードの企画統一」等、納税者の利便性向上に向けた取組も併せて行う必要があります。</p>																																																																																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 徴収率の向上、財政の健全化のため、財産調査や差押え等の強化を行います。 所有財産の発見のため、現地調査や実態調査等の強化を行います。 納税者の利便性向上に向けた取組を行います。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	財産調査や差押等の強化を引き続き行い、徴収率の向上、財政の健全化を目指します。 所有財産の発見のため現地調査や実態調査についても強化を行い、納付につながるよう取り組みます。 標準化やQRコードの企画統一等について、国や県と情報共有をし、納税者の利便性向上に向けた取組の検討を行います。					
指標（予定）	KPI	町税徴収率				92%
	独自	差押件数				100件
	-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった														
	独自の指標①	プロモーション活動の認知度		実績（値） 50.6%														
	独自の指標②			実績（値）														
	独自の指標③			実績（値）														
●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
すむ・奈良・ほっかつ！事業については、独自の指標である「プロモーション活動の認知度」の実績値が50.6%で、目標値の48.0%を上回ったことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。また、総括的な効果検証については、これまで様々なPR・イベント等を通して、北葛城郡の魅力を発信してきたことで、プロモーション活動の認知度が向上し、中にはプロモーション活動がきっかけで転入しているケースもあることから、一定の成果があったのではないかと考えますが、プロモーション活動の実施には多大な費用が必要となるため、移住施策については一旦区切りをつけることとし、移住施策の他に4町共同で取り組むべきことを新たに検討していきます。																		
【広域連携事業】																		
<ul style="list-style-type: none"> ・ほっかつ”歩っ活”ウォーキングマップ ・ほっかつプレミアム商品券 ・基幹システム共同化 ・西和7町障害等支援協議会 ・病児保育園「ぞうさんのおうち」 ・すむ・奈良・ほっかつ！事業 ・山辺・県北西部広域環境衛生組合 ・西和6町法人後見事業 ・公共施設に関する中和・西和広域連携検討会 ・西和地域病児保育室「いちごルーム」 																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																		
<p>【広域連携事業数の推移】</p> <table border="1"> <caption>広域連携事業数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>					年度	事業数	H27	5	H28	7	H29	7	H30	8	R01	10	R02	10
年度	事業数																	
H27	5																	
H28	7																	
H29	7																	
H30	8																	
R01	10																	
R02	10																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある														
	評価の根拠及び理由																	
効率的な行政運営や人口減少については、全国自治体の課題とするところであり、市町村の枠を越えた共同事業等、広域連携を求めたニーズは今後も増えてくると考えます。																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない														
	評価の根拠及び理由																	
すむ・奈良・ほっかつ！事業については、移住施策の取組が一旦区切りとなったことで、新たな取組の検討を進めていく必要があります。また、広域連携を推進し、施設等の利便性の向上や行政運営の効率化を図るために、様々な分野において、広域連携の実現可能性について検討していく必要があると考えますが、連携する市町村において方針や利害が一致することが前提となるため、実現には時間を要すると考えます。																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） すむ・奈良・ほっかつ！事業については、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容の検討を進めていきます。 取り組んでいる広域連携事業に関しては、事業実施における改善や必要性等について見直しをかけるとともに、現時点において町単独で実施している事業や実施を検討している新規事業についても、広域連携の実現可能性について検討していきたいと考えます。				
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	引き続き、すむ・奈良・ほっかつ！事業等において、近隣自治体と連携し、事業を継続していく予定です。 すむ・奈良・ほっかつ！事業については、北葛城ホームページ等の既存作成物を活用したPR活動を継続していくとともに、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容を検討していきます。					
	指標（予定）	KPI	広域連携事業数		11件	
		独自	プロモーション活動の認知度		51%	
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	空き家・空き地バンク登録件数（累計）	実績（値）	3件
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由） 特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュと共同で「空き家セミナー・相談会」の開催しましたが、利活用件数の有効活用率上昇につながりませんでした。 空き家バンク登録登録物件数 3件				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 少子高齢化の進展に伴い、今後も空き家件数は増加していくことが見込まれるため、空き家に関する問題についても増加すると考えられます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 空き家バンクの登録件数の増加のための取組は必要ですが、空き家バンク運営のみにとらわれず、多方面に渡る空き家問題に対し、包括的に取り組む必要があります。 空き家・空き地バンク情報等のインターネット情報を広報に掲載していきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 空き家問題の分野は多岐に渡るため、関係各課と連携を図りながら、空き家問題の取組に詳しい特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュの知恵を借りることで、空き家対策に取り組んでいく必要があります。 空き家所有者に対して空き家について考える機会を増やすため、空き家・空き地バンク情報の紹介や空き家コンシェルジュへの相談窓口案内等を広報にてお知らせしていくことを検討していきます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	今後も特定非営利活動法人 空き家コンシェルジュに協力していただき、空き家相談会の開催を継続します。 空き家バンクや空き家相談会の情報を空き家所有者へ訴求する方法として税務課の協力のもと、固定資産税請求時に案内を送ります。また、空き家実態調査時に行ったアンケートにより判明した利活用に興味を示されている空き家所有者に対して案内状の送付を考えていきます。不動産流通に乗らないような空き家についても、先進的な取組を行っている空き家コンシェルジュと連携することで解決できるよう検討していきます。 町内空き家の実態を調査し、所有者に対して空き家の今後の方向性を確認してもらいます。その調査実施に伴い、各自治会にて保有している空き家情報の提供依頼も実施します。また、空き家情報等を広報にて掲載していくことを検討していきます。				
	指標（予定）	独自	空き家・空き地バンク登録件数（累計）		10件
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①			実績（値）
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
達成度	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議の回数や事業を縮小し、広域連携の活動・協議を進めました。			
	○西和7町障害者等支援協議会 全体会を中止し、代替事業として協議会の活動内容や合理的配慮に関する内容を盛り込んだチラシを全戸配布しました。また、定例会を3回行い、主に新型コロナウイルス感染症により養護者不在となった場合の在宅障がい者への支援施策に関して協議し、地域のサービス事業所へのアンケート調査を行い、協力を要請しました。			
	○専門部会 （くらし部会）精神障がい長期入院患者の地域移行促進に関する会議を2回実施し、西和7町内の町営住宅に関する情報共有や、居住支援法人に関する研修会開催に向けた協議を行いました。			
	（人権施策部会）障がい者権利擁護に係る取組として、講演会実施に向けた会議を1回行いましたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度の講演会は中止しました。			
	○行政事務担当者会議及びワーキング会議 第5期障がい福祉計画の成果目標に掲げる施策について4回会議を開催し、事業実施に向けた協議を継続しました。			
	（地域生活支援拠点等の整備） 緊急受入体制事業及び一人暮らし体験事業の共同実施に向け、短期入所事業所との意見交換や、候補地となる施設への視察を行いました。令和5年度末までの整備に向けて引き続き協議を行います。			
	（児童発達支援センターの設置・重症心身障がい児支援事業の確保・医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置） 児童発達支援センターの設置に向けて、受託希望の医療法人との意見交換会を開催しました。センターの機能に重症心身障がい児支援事業、医療的ケア児支援のための協議の場を付加することを見据え、令和5年度末までの整備に向け引き続き協議を行います。			
	（精神障がい者地域包括ケアシステムの構築） ○郡山中和保健所・精神障がい者家族会・障がいサービス事業者が参画した協議の場を設置し、ケアシステム構築に向けての勉強会を行いました。精神障がい者の円滑な地域移行や地域生活を支援するためのネットワーク構築のため、今後も定期的に協議し、入院を繰り返す障がい者への支援施策や円滑な退院調整を図るためのスキームを検討していきます。			
	○老人福祉施設三室園組合 単独町では運営が困難な三室園養護老人ホームについて、西和7町共同で運営を行いました。（上牧町の措置者は1名）			
○成年後見制度法人後見支援事業 高齢者や障がい者の成年後見制度利用促進を図るセンターを設置し、申立て支援事業、啓発促進事業等を実施し、成年後見制度利用に係る相談支援を行いました。センターによる上牧町の法人後見の総受任件数は4件（高齢者0件 障がい者3件 重複者1件）となっています。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
【「西和7町障害者等支援協議会全体会」及び「人権施策部会講演会」の参加人数】				
		H30	R01	R02
西和7町障害者等支援協議会全体会（人）		163	116	中止 ※代替事業実施
人権施策部会講演会（人）		20	40	中止
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 障がい児から高齢障がい者への支援、障がいの重度化や親亡き後を見据えた地域生活への支援施策等、当事者やその家族からの要望は障がい児者の増加とともに、ますます多様化していくことが予想され、課題解決には、あらゆる世代に対応した多職種の専門機関や近隣自治体とのネットワークを強化し、広域連携を進めていくことが求められていると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 広域連携の事業実施には、広範囲にわたる関係機関との綿密な事前協議が必要ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年と同程度の回数の会議を確保することができませんでした。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 成果目標に掲げる事業の実施に向けて関係機関との十分な協議を進めていくために、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を注視しながら、オンラインによる会議の開催を検討します。				
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	会議の開催等は必要に応じてオンラインによる実施を視野に入れながら、協議を継続いたします。					
	○西和7町障害者等支援協議会 定例会 全体会の開催 ○専門部会 くらし部会 居住支援施策に係る医療機関と意見交換会 人権施策部会 障がい児者の権利擁護に関する講演会の開催（状況により代替事業も検討） ○行政事務担当者会議及びワーキング会議 成果目標に掲げる事業実施に向けた会議の開催 ○老人福祉施設三室園組合 西和7町による養護老人ホームの共同運営の継続 ○成年後見制度法人後見支援事業 成年後見制度利用促進事業の継続					
	指標（予定）	-	-	-	-	-

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>休日応急診療（日曜日や祝日等、病院等が休診の際の緊急的に診療を行うもの。診療科は、内科及び歯科。）の実施と介護保険に係る介護認定審査会運営の共同実施を行う王寺周辺広域休日応急診療施設組合を設置し、西和7町共同での運営を行っています。</p> <p>令和2年度において休日応急診療所の診察件数（内科・歯科）は7町全体で1,499件、うち上牧町114件でした。</p> <p>また、介護認定審査会の審査件数は、7町全体で5,434件、うち上牧町772件でした。</p> <p>診療件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により診療件数は減少しました。審査件数については、制度改正により介護認定有効期間が延長されたことにより更新申請者が減少しました。それに伴い、年間の審査件数は減少しました。西和7町共同で運営を行うことで、遅滞等もなく事務を効果的かつ効率的に進めることができています。</p> <p>広域7町介護保険担当者会議は、令和2年度は8回開催し、広域での取組として法改正に対応するために7町共同で介護予防・日常生活支援総合事業の報酬単価設定や請求コードの作成を行いました。</p> <p>また、休日診療所において新型コロナウイルス感染症に対応するため、発熱患者及び感染症患者用の出入り口、受付、診療室、トイレを設置する工事を実施しました。発熱患者とそれ以外の患者に分けて診療を行うことにより感染を防止し、よりスムーズに診療を行うことができました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後、ますます高齢化が進む社会環境において、審査件数は増加していくことが予想されます。また、社会環境の変化や法令等の改正等、事務事業においても解決すべき課題が増えることが予想されます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>7町共同での運営を行うことで、事務の効率化が図れています。また、事務量の増加等にも対応できていますが、今後の法令改正等によっては、既存システムの改修等、別途対応すべき事案が出てくることが予想されます。これらの事案に対して随時対応していく必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>法改正等があった場合には随時、広域7町介護保険担当者会議において協議を行うほか、王寺周辺広域休日応急診療施設組合と協議等を行っていくことにより、効率的な運営に努めます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>王寺周辺広域休日応急診療施設組合（保健） 8,142,000円 西和7町にて休日応急診療所の共同運営（組合設置）</p> <p>王寺周辺広域休日応急診療施設組合（介護） 5,324,000円 西和7町にて介護保険認定審査会の共同設置（組合設置）</p> <p>広域7町介護保険担当者会議 西和7町にて法改正や広域連携等を検討する会議</p>					
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>自治連合会に対しての防犯活動の援助及び助成金の交付等の支援に加え、広報かまきやSNS等での情報発信により、住民の方の地域活動への機会の創出ができました。</p> <p>各種団体の設立や支援という点においては、片岡台1丁目のセントラルヒルズ西大和を訪問し、マンションの役員の方とお話させていただきましたが、自治会の設立には至りませんでした。</p> <p>まちづくり協議会設立に向けた説明会を検討していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったため、具体的な支援策の検討は行えませんでした。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>少子高齢化による担い手不足や住民自治の維持が困難になっていく中で、特定の人だけではなく全体で地域を支えていくために、住民が地域活動に参加しやすい環境整備や支援の充実を図ることが求められているため、ニーズは増加すると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>当面は現状のまま取り組んでいきますが、地域活動を継続的に維持できるよう、社会情勢に適した新たなニーズの把握や次世代の担い手となる人材の掘り起こし等が必要であると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）
<p>町民参画による協働のまちづくりを推進していくため、町民ニーズに沿って今後も地域活動の支援を継続するとともに、各種団体の設立及び自立に向けた支援についてスムーズに対応できるような体制の構築に努めたいと考えます。</p> <p>また、地域活動を継続的に維持できるよう、社会情勢に適した新たなニーズの把握や次世代の担い手となる人材の掘り起こし等、必要な方策について検討します。</p>		
<p>令和3年度も引き続き、町民参画による協働のまちづくりを推進していくため、町民の地域活動支援として上牧町自治連合会や各地域の自治会に補助や助成、地域活動の紹介、各種団体設立支援、自治会設立支援等を行います。</p>		
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会においては、1名の公募住民に委員として参加していただき、計4回の会議において、貴重なご意見をいただくことができました。その他、各課においても町民参加機会の創出を図り、町民との協働のまちづくりの推進に取り組みましたが、パブリックコメントについては実施期間にバラつきがあり、町民参加も十分に得ることができませんでした。</p> <p>【公募住民の参画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペガサスホール運営検討委員会（社会教育課／公募委員4名） ○ 上牧町第6期障がい福祉計画（福祉課／公募委員2名） ○ 上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画（福祉課／公募委員2名） ○ 上牧町第8期介護保険事業計画（生き活き対策課／公募委員4名） <p>【パブリックコメントの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上牧町都市計画道路見直し（まちづくり創生課／コメント4件）10/1～10/30 ○ 上牧町耐震改修促進計画（まちづくり創生課／コメント0件）3/1～3/15 ○ 上牧町町営住宅等長寿寿命化計画（生活環境課／コメント0件）3/3～3/23 ○ 上牧町国土強靱化地域計画（総務課／コメント0件）11/2～11/30 ○ 上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画（福祉課／コメント0件）2/8～2/22 ○ 上牧町個別施設計画（総務課／コメント0件）3/1～3/15 ○ 上牧町第6期障がい福祉計画（福祉課／コメント0件）2/15～3/1 ○ 上牧町第8期介護保険事業計画（生き活き対策課／コメント2件）1/19～2/2 <p>【各課の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 傾聴ボランティア（生き活き対策課／23名） ○ 出会い・結婚応援事業（こども支援課／14名） ○ 総合計画（後期基本計画）策定業務 小中学生アンケート調査（政策調整課／323名） 				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町民参画による協働のまちづくりを推進し、より一層民意が反映された町政の実現を目指す上で、町として町民参画機会の拡充に努めておりますが、まちづくりに対する実績や町民の評価に伴い、更なる参画機会の確保の検討が求められると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町民の意見を町政に反映する場や機会を充実させるために、パブリックコメントの実施方法や各種委員会等の委員募集等について見直しの余地はあると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 上牧町まちづくり基本条例に基づき、今後も引き続き町民参画機会の拡充に努めていきたいと考えます。パブリックコメントについては、要綱の運用面に課題があるように感じるため、要綱を制定した当課において基本的な方針を示していくことで、町民の方が参加しやすい実施方法の定着を図ります。
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	引き続き、町民がまちづくりに参画する権利を行使できるよう、各種計画の審議会等への公募住民の任用やパブリックコメント、アンケート等を行います。パブリックコメントについては運用面の課題を解決するため、各課への運用方法の再周知等を行うことで、改善を図ります。	
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった					
	独自の指標①	上牧町まちづくり人材バンクの登録者数	実績（値）	30人			
	独自の指標②		実績（値）				
	独自の指標③		実績（値）				
●事業の分析（評価の根拠・理由） 広報において人材バンクに関する情報発信を行ったものの、自治連合会の総会等の場に出向いて登録・利活用に関する呼びかけを直接行うことができなかったこともあり、KPIについては「人材バンク登録者数」及び「人材バンク年間活用件数」が目標値を下回ったため、目標とする成果は得られなかったと考えます。							
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。							
【人材バンク登録者数・活用人数】							
		H27	H28	H29	H30	R01	R02
登録者数【累計】（人）		10	15	20	29	30	30
活用人数【年間】（人）		1	0	0	0	9	7
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある					
	評価の根拠及び理由 高齢化の進行に伴い、地域の担い手不足が懸念されている状況であるため、優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用促進の取組を進めてほしいというニーズは増えてくると考えます。						
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない					
	評価の根拠及び理由 人材バンクの登録者の拡充については、直接的な働きかけができていないため、自治会や各種団体から人材を紹介してもらうなど、多方面にアプローチしていくことで、登録者数を増やしていくことが見込めると考えますが、人材バンクの活用については、人材バンクの内部共有を継続して実施しているものの、活用件数が増加していない状況であるため、活用を促進するためには、制度自体の見直しも視野に入れる必要があると考えます。						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 人材バンクについては、現行の制度における登録者の拡充及び活用促進の取組を進めるとともに、人材バンク制度をより良いものとするために制度内容の見直しについても検討していく必要があると考えます。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	引き続き、人材バンクを拡充していくために、広報やホームページ等において人材バンクに関する情報発信を行っていくとともに、関係課との情報共有を継続していく予定です。また、他自治体の事例等を調査しながら、人材バンク制度の見直しについても検討を進めていく予定です。				
	指標 (予定)	KPI	上牧町まちづくり人材バンク登録者の活用人数	20人	
		独自	上牧町まちづくり人材バンクの登録者数	40人	
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 自治会長向けの説明会は延期となり、令和2年度においてまちづくり協議会の設置に向けた機運を高めることはできませんでした。また、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑み、先進地視察もできませんでした。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 今後、地域における担い手不足が課題となる中で、まちづくり協議会等の地域における多様な主体で構成された新たな組織の設立を求める機運が高まることが想定されることから、ニーズは高まると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 まちづくり協議会を設立することで、協働参画によるまちづくりがさらに推進され、地域課題の解決にも寄与するものと考えます。一方で、設立については、あくまで主体となる町民の意思が尊重されるものであり、まちづくり協議会の必要性の説明や各地区での準備会の設立に関する提案等、機運を醸成するための取組が必要であると考えますが、その核となる自治会長への啓発については、新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまで行うことが難しい状況です。また、設立に向けての支援のあり方等について、地域のニーズに対してどのように対応していくのか内部で方針を検討する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） まちづくり協議会の設立に向けては、各地区ごとにニーズを把握し、町民の機運を高めていくこととあわせて、どのような方法で設立支援を行うのか、方針や体制の構築について検討を始めます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	まちづくり協議会の設立に向けては、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、自治連合会（定例会または臨時会、役員会）において必要性等に関する説明と各地区での準備会の設立に関する提案を行うとともに、設立に向けての支援のあり方等について、方針や体制構築に向けての検討を行います。				
	指標（予定）	-			
		-			
		-			
		-			
-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																								
	独自の指標①		実績（値）																									
	独自の指標②		実績（値）																									
	独自の指標③		実績（値）																									
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>令和2年度は、申請団体数が3団体であり、KPIの指標である「年間申請団体数」が目標値の5団体を下回りましたが、本制度の活用促進を目的として、交付要綱の内容について、申請団体の自己負担額を軽減できるような改正を行いましたので、今後、本補助金の活用促進につながっていくと考えます。</p> <p>【申請事業】</p> <p>①琉球國祭り太鼓（申請団体：さぶらいぶ・べがの会）【中止：補助金交付額0円】</p> <p>②コロナ禍の災害対策ワークショップ（申請団体：かんまき自主防災ネットワーク）【中止：補助金交付額42,636円】</p> <p>③地域防犯活動の高齢化対応と水平展開（申請団体：西大和6自治会連絡会）【実施：補助金交付額150,000円】</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響で2事業が中止になりましたが、1事業については、準備に係る経費が発生していたため、実績額に応じて補助金を交付しています。</p>																												
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請数】</p> <table border="1"> <caption>上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>申請数</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					年度	申請数	目標値	H27	2	5	H28	4	5	H29	4	5	H30	5	5	R01	3	5	R02	3	5	R03	5	5
年度	申請数	目標値																										
H27	2	5																										
H28	4	5																										
H29	4	5																										
H30	5	5																										
R01	3	5																										
R02	3	5																										
R03	5	5																										
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業」については、申請まで至っていない相談や問い合わせもあり、活用実績の増加に伴い認知度が高まることで、ニーズは今後も増えてくるとともに多様化してくるものと考えます。</p>																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後、さらに補助金の活用を促進していくためには、申請件数が少なかった場合に追加募集を行っていくなどの検討が必要であると考えます。</p>																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>補助金の活用を促進していくため方法の一つとして、令和3年度からは、申請件数が少なかった場合に追加募集ができる枠組みで補助金申請の募集を行っていきます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	申請件数が少なかった場合に追加募集ができる枠組みとして、令和3年度も引き続き「上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業」を実施していく予定です。					
	指標（予定）	KPI	上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請数			5件
		-				
		-				
-						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																										
	独自の指標①	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議の年間開催数	実績（値）	4回																																																																																										
	独自の指標②	学校支援ボランティア年間登録者数	実績（値）	238人																																																																																										
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																																													
	<p>「学校・地域パートナーシップ事業」 地域コーディネーターは各小中学校・幼稚園に1名ずつ配置され合計6名おり、全体で年に2回、事務局と問題解決する会議を行いました。会議内容（第1回）各学校・幼稚園の事業立案について（第2回）年間総括について地域コーディネーター同士で各学校幼稚園の活動内容についての意見交換ができました。</p> <p>「コミュニティ・スクール」 コミュニティ・スクール導入に向けての検討会議は4回実施しました。</p> <p>会議内容（第1回）進捗状況（第2回）コミュニティ・スクールとパートナーシップ事業の関係性について・奈良市での導入事例（第3回）上牧町でのより良い導入方法について（第4回）設置研修会</p> <p>全ての会議に、県教育委員会事務局の方にお越しいただきました。また、コミュニティ・スクールについては、各学校の運営方針等を検討する場となりますので、学校教育担当課である教育総務課と規則や実施要領の制定に向けて連携する必要があります。</p>																																																																																													
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																																													
	【令和2年度 ボランティア登録者数】 ※1名で複数校（園）に登録しているボランティアがいます。																																																																																													
	<table border="1"> <tr> <th>上牧小学校</th> <th>上牧第二小学校</th> <th>上牧第三小学校</th> <th>上牧中学校</th> <th>上牧第二中学校</th> <th>上牧幼稚園</th> </tr> <tr> <td>92人</td> <td>85人</td> <td>48人</td> <td>29人</td> <td>36人</td> <td>17人</td> </tr> </table>				上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園	92人	85人	48人	29人	36人	17人																																																																														
	上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園																																																																																								
	92人	85人	48人	29人	36人	17人																																																																																								
【令和2年度 地域コーディネーターの活動時間】																																																																																														
<table border="1"> <tr> <th>上牧小学校</th> <th>上牧第二小学校</th> <th>上牧第三小学校</th> <th>上牧中学校</th> <th>上牧第二中学校</th> <th>上牧幼稚園</th> </tr> <tr> <td>77時間</td> <td>22時間</td> <td>43時間</td> <td>40時間</td> <td>15時間</td> <td>13時間</td> </tr> </table> <p>※各学校・園のボランティア活動の内容により地域コーディネーターの活動時間が異なります。</p>				上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園	77時間	22時間	43時間	40時間	15時間	13時間																																																																															
上牧小学校	上牧第二小学校	上牧第三小学校	上牧中学校	上牧第二中学校	上牧幼稚園																																																																																									
77時間	22時間	43時間	40時間	15時間	13時間																																																																																									
【令和2年度 ボランティア活動実績（延べ数）】																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">図書支援</th> <th colspan="2">学習支援</th> <th colspan="2">環境支援</th> <th colspan="2">登下校見守り支援</th> <th colspan="2">放課後学習支援</th> <th colspan="2">学校行事運営支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧小学校</td> <td>10日</td> <td>25人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1日</td> <td>5人</td> <td>195日</td> <td>3,200人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第二小学校</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>122日</td> <td>183人</td> <td>198日</td> <td>1,386人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第三小学校</td> <td>9日</td> <td>34人</td> <td>41日</td> <td>90人</td> <td>10日</td> <td>32人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1日</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>上牧中学校</td> <td>82日</td> <td>155人</td> <td>9日</td> <td>17人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>19日</td> <td>23人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧第二中学校</td> <td>18日</td> <td>73人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>51日</td> <td>218人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上牧幼稚園</td> <td>11日</td> <td>33人</td> <td>14日</td> <td>57人</td> <td>5日</td> <td>5人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※登下校見守り支援（小学校）については、ほぼ町内全域で行っていますが、自治会として活動している場合もあり、学校支援ボランティアとして登録されていない地区もあります。</p>					図書支援		学習支援		環境支援		登下校見守り支援		放課後学習支援		学校行事運営支援		上牧小学校	10日	25人	-	-	1日	5人	195日	3,200人	-	-	-	-	上牧第二小学校	-	-	-	-	122日	183人	198日	1,386人	-	-	-	-	上牧第三小学校	9日	34人	41日	90人	10日	32人	-	-	-	-	1日	6人	上牧中学校	82日	155人	9日	17人	-	-	-	-	19日	23人	-	-	上牧第二中学校	18日	73人	-	-	51日	218人	-	-	-	-	-	-	上牧幼稚園	11日	33人	14日	57人	5日	5人	-	-	-	-	-	-
	図書支援		学習支援		環境支援		登下校見守り支援		放課後学習支援		学校行事運営支援																																																																																			
上牧小学校	10日	25人	-	-	1日	5人	195日	3,200人	-	-	-	-																																																																																		
上牧第二小学校	-	-	-	-	122日	183人	198日	1,386人	-	-	-	-																																																																																		
上牧第三小学校	9日	34人	41日	90人	10日	32人	-	-	-	-	1日	6人																																																																																		
上牧中学校	82日	155人	9日	17人	-	-	-	-	19日	23人	-	-																																																																																		
上牧第二中学校	18日	73人	-	-	51日	218人	-	-	-	-	-	-																																																																																		
上牧幼稚園	11日	33人	14日	57人	5日	5人	-	-	-	-	-	-																																																																																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「学校・地域パートナーシップ事業」 地域コーディネーターは、多数の学校・園で複数年地域コーディネーターを担っている方ですので、事業に対しても熟知されており円滑に進んでおりますが、今後も引き続きパートナーシップ事業を行っていくにあたり、地域コーディネーターの人材確保は重要だと考えますので、積極的に活動していただいているボランティアの方等から継承していただければという方とつながりを持っておくことが必要だと考えます。 「コミュニティ・スクール」 コミュニティ・スクールについては各学校の運営方針等を検討する場となりますので、学校教育担当課である教育総務課と規則や実施要領の制定に向けて会議等を重ねて連携する必要があります。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	「学校・地域パートナーシップ事業」 令和2年度に引き続き、将来的にコミュニティ・スクールの構築に向け、より充実したパートナーシップ事業を進めて取り組んでいく予定です。またボランティアの方々には、特技や趣味等を生かして学校の教育活動に協力していただけるように、各学校・園の地域コーディネーターが、ボランティアの配置・調整、学校と連携を図っていきます。 「コミュニティ・スクール」 令和3年度は学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を年5回程度実施し、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していく予定です。					
	指標（予定）	独自	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議の年間開催数	5回	独自	学校支援ボランティア年間登録者数

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	ペガサスフェスタ来場者数	実績（値）	0人
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） ペガサスフェスタについては、新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができなかつたため、令和3年度の開催に向けて、イベント運営方法の見直しについて検討を行いました。ペガサスフェスタの模擬店の出展やステージ出演については、基本的に前年度出展していただいた団体に依頼していましたが、様々な団体が参加できるように「公募」による出展者の募集について検討を進めました（募集要綱（案）の作成）。イベント出展者を公募（予定）にすることで、様々な団体の参加機会を作ることができ、ふるさと意識の高揚につながると考えます。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 ペガサスフェスタについては出演、出展の要望が多く、町民が参画・協働できるイベントの実施に対するニーズは増えてくると考えます。このようなイベントを継続していくことでふるさと意識の高揚につながると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 ペガサスフェスタについては、今後もより魅力的なイベントになるよう工夫していく必要があります。イベント運営方法を見直しあたり、検討した内容をベースに実際の運用に反映させていくためには、内容の詳細を調整していく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ペガサスフェスタについては、今後も多くの来場者、参加者に満足していただけるよう、効果的な実施方法やニーズを把握しながら少しずつ装いを変えていきたいと考えています。 また、出演、出展の要望が増えている一方で、少子高齢化、生産年齢人口の減少により、地域の担い手については年々不足してきている状況でもありますので、ペガサスフェスタの実施にあたっては、定住促進やリターンのきっかけとなるようなイベントとして継続できるように取り組んでいきたいと考えます。		
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和3年度も引き続き、上牧町へのふるさと意識の高揚を目指して、ペガサスフェスタの開催を予定していますが、開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施の判断を行います。また、実施できなかった場合は、新型コロナウイルス感染防止対策を含めたイベント運営方法の見直しやコンテンツの検討等を行い、令和4年度の開催に向けた準備を進める予定です。			
	指標（予定）	独自	ペガサスフェスタ来場者数	3,500人
		—		
		—		
		—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった														
	独自の指標①		実績（値）															
	独自の指標②		実績（値）															
	独自の指標③		実績（値）															
●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
<p>町の公式SNSとして、Facebookに続きLINEとYouTubeを開設することで、情報発信ツールを拡充することができました。LINEについては、即登録者に情報が届くため、これまで以上の情報発信力の強化につながったと考えます。また、YouTubeについては、コロナ禍において外出や活動できない方が増える中、運動や歴史講座の動画を配信したり、ドローン映像を配信したりするなど、暗く沈みがちだったみなさんの心を少しでも前向きにできるような情報発信ツールとして活用できたと思います。</p> <p>ホームページについては、新型コロナウイルス関連情報について専用ページを設け、日々発信を続けています。閲覧者が知りたい情報を迅速かつ適切に発信し続けたこともあり、成果指標としているホームページのアクセス数は目標値を大幅に超える287,870回と昨年よりも58%増加、目標よりも大きな成果が得られたと考えます。</p> <p>≪情報発信≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティング：中止 ・広報かんまき：毎月 ・HPにおける専用ページの追加：4ページ ・Facebook投稿：90回 ・LINE投稿（トーク）：46回 ・YouTube投稿：17回 ・プレスリリース：16回 																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																		
<p>【ホームページアクセス数（回）】</p> <table border="1"> <caption>ホームページアクセス数（回）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>アクセス数（回）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>110,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>120,385</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>141,226</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>145,726</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>167,832</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>287,870</td> </tr> </tbody> </table>					年度	アクセス数（回）	H27	110,000	H28	120,385	H29	141,226	H30	145,726	R01	167,832	R02	287,870
年度	アクセス数（回）																	
H27	110,000																	
H28	120,385																	
H29	141,226																	
H30	145,726																	
R01	167,832																	
R02	287,870																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>協働のまちづくりについては、情報発信・情報共有能力を充実させることで推進されると考えられますので、SNSの活用等、情報発信ツールの多様化に対するニーズは増加していくと考えます。</p>																	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>IT技術の革新により社会情勢やニーズは飛躍的に変化しており、それに対応するための情報発信ツール等の新たなサービスの導入を検討することが必要であると考えます。また、SNSの活用については、今後も積極的に検討していくことが必要であると考えます。</p> <p>毎月発行する広報紙については、住民のみなさんに手に取っていただける広報紙作りを目標に作成します。</p>																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	<p>今後の新型コロナウイルス感染状況によってはこれまでよりも様々な情報を迅速かつ的確に町民に発信・提供していくことが求められます。アクセシビリティ、ユーザビリティの課題を解消し、増加するスマートフォンユーザーに対応した視認性の高い、より効果的な情報発信が可能なホームページにリニューアルします。</p> <p>また、新聞やテレビ等のメディアを通じた情報の発信を行います。</p>				
	指標（予定）	KPI	ホームページのアクセス数	300,000回	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった										
	独自の指標①	プロモーション活動の認知度	実績（値）	50.6%								
	独自の指標②		実績（値）									
	独自の指標③		実績（値）									
●事業の分析（評価の根拠・理由） すむ・奈良・ほっかつ！事業については、独自の指標である「プロモーション活動の認知度」の実績値が50.6%で、目標値の48.0%を上回ったことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。また、総合的な効果検証については、これまで様々なPR・イベント等を通して、北葛城郡の魅力を発信してきたことで、プロモーション活動の認知度が向上し、中にはプロモーション活動がきっかけで転入しているケースもあることから、一定の成果があったのではないかと考えますが、プロモーション活動の実施には多大な費用が必要となるため、移住施策については一旦区切りをつけることとし、移住施策の他に4町共同で取り組むべきことを新たに検討していきます。												
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。												
【プロモーション活動の認知度（%）】												
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>46.5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>50.6</td> </tr> </tbody> </table>					年度	認知度 (%)	H30	46.5	R01	48.1	R02	50.6
年度	認知度 (%)											
H30	46.5											
R01	48.1											
R02	50.6											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある										
	評価の根拠及び理由 大阪府周辺のベッドタウンとなる自治体との比較の中で、知名度の面を考慮すると、暮らしやすい住環境を町外へPRしていくことが必要であり、継続的かつ効果的なPR活動を実施することで、定住人口・関係人口の増加につなげていきたいと考えます。											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない										
	評価の根拠及び理由 すむ・奈良・ほっかつ！事業については、移住施策の取組が一旦区切りとなったことで、新たな取組の検討を進めていく必要があります。											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） すむ・奈良・ほっかつ！事業については、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容の検討を進めていきます。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	すむ・奈良・ほっかつ！事業については、北葛城ホームページ等の既存作成物を活用したPR活動を継続していくとともに、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容を検討していきます。				
	指標 （予定）	KPI	ホームページへのアクセス数	300,000件	
		独自	プロモーション活動の認知度	51%	
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																		
	独自の指標①	情報系パソコン更新台数	実績（値）	30台																		
	独自の指標②		実績（値）																			
	独自の指標③		実績（値）																			
●事業の分析（評価の根拠・理由）																						
<p>【情報セキュリティの強化】</p> <p>情報セキュリティにおける自己点検（セルフチェック）を10月1日から全職員に対して実施しました。また、情報セキュリティ全体研修を11/24、11/25の2日間行い、翌年1/14には、税務課、徴収課、福祉課及び住民課に対して内部監査を実施しました。これらの情報セキュリティ研修及び内部監査等を通じて情報セキュリティの強化が図られています。</p> <p>「改善措置」</p> <table border="1"> <tr> <td>共通事項</td> <td>実施手順書を再確認の上、必要な書類の作成。パスワード設定時のルールの周知。</td> </tr> <tr> <td>税務課</td> <td>eLTAX端末へのウイルス対策。</td> </tr> <tr> <td>徴収課</td> <td>離席時の情報セキュリティ対応のルール化、システムのバックアップ状況の確認。</td> </tr> <tr> <td>福祉課</td> <td>システムのバックアップ状況の確認、ウイルス対策ソフトのバージョンの最新化、外部からのデータ取り込み時のウイルスチェックの徹底。</td> </tr> <tr> <td>住民課</td> <td>共通事項のみ。</td> </tr> </table> <p>【電子申請システム拡充に向けた環境整備】</p> <p>ふるさと納税の申請 3件</p> <p>【防災行政無線】</p> <p>全国瞬時警報システム全国一斉情報伝達訓練 4回（5/20、8/5、10/7、2/17） 緊急地震速報訓練 2回（6/17、11/5）</p> <p>【情報基盤の充実】</p> <p>情報系パソコン（30台）を新たなパソコンへ更新を行いました。</p>					共通事項	実施手順書を再確認の上、必要な書類の作成。パスワード設定時のルールの周知。	税務課	eLTAX端末へのウイルス対策。	徴収課	離席時の情報セキュリティ対応のルール化、システムのバックアップ状況の確認。	福祉課	システムのバックアップ状況の確認、ウイルス対策ソフトのバージョンの最新化、外部からのデータ取り込み時のウイルスチェックの徹底。	住民課	共通事項のみ。								
共通事項	実施手順書を再確認の上、必要な書類の作成。パスワード設定時のルールの周知。																					
税務課	eLTAX端末へのウイルス対策。																					
徴収課	離席時の情報セキュリティ対応のルール化、システムのバックアップ状況の確認。																					
福祉課	システムのバックアップ状況の確認、ウイルス対策ソフトのバージョンの最新化、外部からのデータ取り込み時のウイルスチェックの徹底。																					
住民課	共通事項のみ。																					
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																						
<p>【ふるさと納税申込件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふるさと納税件数（人）</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>電子申請分（人）</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>						H28	H29	H30	R01	R02	ふるさと納税件数（人）	3	8	6	5	6	電子申請分（人）	2	4	3	3	3
	H28	H29	H30	R01	R02																	
ふるさと納税件数（人）	3	8	6	5	6																	
電子申請分（人）	2	4	3	3	3																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 国の制度変化にも柔軟に対応できるように、体制の確認、構築等を行い、町民が利用しやすい行政サービスの提供及び基盤整備を目指します。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【情報セキュリティの強化】</p> <p>8月上旬 情報セキュリティ研修、11月上旬 内部監査人研修・内部監査（マイナンバーを扱っている課を予定）、同月中旬 監査報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ研修 情報セキュリティに関して必要な事項に加え、令和元年度に改正された情報セキュリティポリシーに関する研修を行います。 情報セキュリティ内部監査 特定個人情報又は個人情報等重要情報を扱う業務システムのセキュリティ対策の実施状況を監査します。 LGWANファイアーウォールの更新を行います。 電算室への入退室管理システムの更新を行います。 <p>【防災行政無線】</p> <p>全国瞬時警報システム全国一斉情報伝達訓練及び緊急地震速報訓練を実施します。</p> <p>【情報基盤の充実】</p> <p>情報系パソコン（100台）を新しいパソコンに更新します。</p> <p>情報系パソコンからインターネットを閲覧可能（仮想化）とします。</p>					
	指標（予定）	独自	情報セキュリティに対する遵守意識度			90%

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																		
	独自の指標①	マイナンバーカード普及率		実績（値） 28.91%																																																																		
	独自の指標②			実績（値）																																																																		
	独自の指標③			実績（値）																																																																		
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																					
	<p>コンビニ交付を行うことで、マイナンバーカードの取得者は、日本全国の主要コンビニ等において、交付手数料200円で行政証明（住民票・印鑑証明書）を取得することができ、平日及び土日祝日の6：30～23：00までの時間帯でコンビニ交付を利用することができるようになります。そうしたメリットを住民の方へ周知したことにより、マイナンバーカードの発行数の増加やコンビニ交付による行政証明書取得件数の増加につながったと考えます。</p> <p>日中に窓口へ取りに来れない方のために、電話等で予約を受け、平日17:15～19:30、土日祝日8:30～19：30までの間で来庁していただき、夜間・休日の交付を行ったことで、普及率の向上につながったと考えます。</p> <p>また、広報・ホームページ・公式LINEで周知を行ったことも、普及率の向上につながったと考えます。</p> <p>その他、普及率向上の一番の要因としては、マイナポイントの開始により、取得希望者が増加したためであると考えます。</p> <p>戸籍証明書発行については、他市町村と検討を進めていますが、戸籍証明書発行を行う場合別途サーバーの立ち上げ等が必要になるため導入を見送りました。</p> <p>対応するコンビニに関しては、下記の表のようになっており、現在交付を実施しているコンビニで95%以上を占めています。また、新規の対象を増やすことにより、実店舗試験等を実施するコストが増加するため現時点では見送っています。</p>																																																																					
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																					
	【令和2年度 マイナンバーカード申請数・交付枚数】																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請数</td> <td>152</td> <td>334</td> <td>173</td> <td>340</td> <td>340</td> <td>329</td> <td>266</td> <td>232</td> <td>195</td> <td>305</td> <td>495</td> <td>1,214</td> </tr> <tr> <td>合計申請数</td> <td>4,235</td> <td>4,569</td> <td>4,742</td> <td>5,082</td> <td>5,422</td> <td>5,751</td> <td>6,017</td> <td>6,249</td> <td>6,444</td> <td>6,749</td> <td>7,244</td> <td>8,458</td> </tr> <tr> <td>交付数</td> <td>89</td> <td>113</td> <td>175</td> <td>240</td> <td>314</td> <td>307</td> <td>287</td> <td>255</td> <td>290</td> <td>185</td> <td>271</td> <td>524</td> </tr> <tr> <td>合計交付数</td> <td>3,479</td> <td>3,592</td> <td>3,767</td> <td>4,007</td> <td>4,321</td> <td>4,628</td> <td>4,915</td> <td>5,170</td> <td>5,460</td> <td>5,645</td> <td>5,916</td> <td>6,440</td> </tr> </tbody> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	申請数	152	334	173	340	340	329	266	232	195	305	495	1,214	合計申請数	4,235	4,569	4,742	5,082	5,422	5,751	6,017	6,249	6,444	6,749	7,244	8,458	交付数	89	113	175	240	314	307	287	255	290	185	271	524	合計交付数	3,479	3,592	3,767	4,007	4,321	4,628	4,915	5,170	5,460	5,645	5,916	6,440
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																									
申請数	152	334	173	340	340	329	266	232	195	305	495	1,214																																																										
合計申請数	4,235	4,569	4,742	5,082	5,422	5,751	6,017	6,249	6,444	6,749	7,244	8,458																																																										
交付数	89	113	175	240	314	307	287	255	290	185	271	524																																																										
合計交付数	3,479	3,592	3,767	4,007	4,321	4,628	4,915	5,170	5,460	5,645	5,916	6,440																																																										
【マイナンバーカード休日交付・夜間交付実施数】																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">令和2年</th> <th colspan="3">令和3年</th> </tr> <tr> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土曜開庁</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平日夜間開庁</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年				令和3年			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	土曜開庁	1	0	2	5	1	1	2	平日夜間開庁	11	4	3	2	3	3	5																																			
	令和2年					令和3年																																																																
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																															
土曜開庁	1	0	2	5	1	1	2																																																															
平日夜間開庁	11	4	3	2	3	3	5																																																															
【月間コンビニ交付件数（3月分）】																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>セブンイレブン</th> <th>ローソン</th> <th>ファミリーマート</th> <th>ミニストップ</th> <th>その他（144団体）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付枚数（枚）</td> <td>582,731</td> <td>219,388</td> <td>269,388</td> <td>17,673</td> <td>53,505</td> </tr> <tr> <td>交付率（%）</td> <td>51.0</td> <td>19.2</td> <td>23.6</td> <td>1.5</td> <td>4.7</td> </tr> </tbody> </table>						セブンイレブン	ローソン	ファミリーマート	ミニストップ	その他（144団体）	交付枚数（枚）	582,731	219,388	269,388	17,673	53,505	交付率（%）	51.0	19.2	23.6	1.5	4.7																																																
	セブンイレブン	ローソン	ファミリーマート	ミニストップ	その他（144団体）																																																																	
交付枚数（枚）	582,731	219,388	269,388	17,673	53,505																																																																	
交付率（%）	51.0	19.2	23.6	1.5	4.7																																																																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																		
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>マイナンバーカードは、マイナポイントの延長に伴い、1月以降の申請数が増加しており、特にポイント付与の終了が近い3月に申請が集中しています。マイナポイントの付与終了に伴い、希望者は減少する見込みですが、健康保険証としての利用開始または、将来的には運転免許としての利用についても国の方で検討されており、対応後にはニーズの増加が予想されます。</p>																																																																					
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																		
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>マイナポイント終了後、マイナンバーカードの利便性を周知し、交付率の向上を目指す必要があります。マイナンバーカードで健康保険証が利用可能になるなど、今後の動向を確認しつつ、休日や夜間の交付等については、ホームページ・広報やLINEを利用し周知を行います。</p>																																																																					

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	マイナポイントの実施に伴うマイナンバーカード交付枚数増加に対応し、マイナンバーカードに関する事務について補助金を活用し人員を増強することで、迅速に住民の方に手元にカードが届くよう対応していきます。引き続き、広報その他SNS等を利用して、交付場所・時間等の周知を行い、日中に窓口へ取りに来れない方のために、平日・夜間・休日の交付を行うことで普及率の向上につなげます。					
	指標（予定）	KPI	上牧町におけるコンビニ交付による証明書等の発行率		12.0%	
		独自	マイナンバーカード普及率		35.0%	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	公共施設等マネジメント推進検討会議の開催		実績（値） 6回
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>第3回検討会議、第4回検討会議をR2. 8. 22及びR2. 10. 7に開催し、施設利用状況と劣化診断の表を参考に、施設カテゴリー別の今後の方針を検討を行いました。課をまたぎ検討する必要がある場合は、部局横断的に検討しました。</p> <p>R2. 10. 29において、第3回推進委員会を開催し、上記の検討内容について報告を行いました。</p> <p>第5回検討会議をR2. 11. 13に開催し、第3回推進委員会へ報告した内容に一部修正を加えた個別施設計画の作成を行いました。</p> <p>R2. 11. 30及びR3. 2. 3において、第4回・第5回推進委員会を開催し、個別施設計画の報告をし、最終版の作成を行いました。</p> <p>R3. 3. 1～R3. 3. 15においてパブリックコメントを実施しました。なお、住民からの意見は0件でした。</p> <p>R3. 3. 24 上記の会議等を経て、町長へ報告を行い、個別施設計画を策定しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>公共施設の老朽化に対応する費用は年々増加しており、今後持続可能な施設運営が求められます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>個別施設計画を策定するにあたり、施設の状況を職員による現場の確認を行うことで、数値化しましたが、一律の基準による判定の難しさを実感しました。今後も引き続き、定期的な施設の現場確認ができる仕組みを構築する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 施設の状況を職員による現場の確認を行うことで、数値化する際の考え方等についてはチェックシートの作成等を検討し、再度研修等を行うことで職員のレベルを均一にする必要があります。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		個別施設計画を策定したことにより、公共施設等総合管理計画の見直しを行う必要があるため、令和3年度に改訂作業を行う予定です。			
指標（予定）	独自	公共施設等マネジメント推進検討会議の開催		3回	
	—				
	—				
	—				
	—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	ペガサスホール運営検討委員会の進捗度	実績（値）	4項目
	独自の指標②	公民館の現況や利用状況の確認	実績（値）	13施設
	独自の指標③	ペガサスホール利用後の満足度（リピート率）	実績（値）	96%
●事業の分析（評価の根拠・理由） ホールの運営について、運営スタッフ・事務局の研修効果や機器更新に伴い汎用性も高まり、専門技術者の発掘による運営効率が改善できており、駐車場の増設による収容台数の増加と、その増設駐車場を利用したイベントの導入による地域住民との連携が構築できました。これらの効果によりホールの利用回数が倍増しており、ホール使用料についても近隣ホールと比較し、適切な料金帯でご利用いただいております。利用者並びに来館者からの高評価もいただいております。しかし、ホール開館に伴う経費について、今後10年間に想定される工事の試算を踏まえ協議を重ねた結果、同年度内に検証できませんでした。 個別施設計画では、公民館の現況及び利用状況の調査を終え、マネジメント委員会へ報告しました。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 誰もが集える町民活動の拠点として施設を維持していく必要があり、今後も持続可能な施設運営が求められます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 想定される工事と実施工事の間にかかる差異を埋めるには、定期的に業者へ調査依頼することが最も効果的と考えられます。個別施設計画では、各公民館（13施設）が本当に必要かどうかについて、町と自治会（一般利用者）が利用する比率の算出や、隣接する公民館・老人憩いの家・集会所の距離や延床面積あたりの利用人数の把握を行うなど、複合的な情報をもとに重要な公民館の選別ができるようにすることが必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 定期的に業者へ調査依頼するにも費用が必要なため、定期的に専門家と施設の確認をしながら、故障リスクの洗い出しを行い、長寿命化できるものに優先順位をつけ、定期的に工事予定リストの更新に取り組みます。 個別施設計画において、各公民館の現況や利用状況を確認しながら、公民館のあり方も含め、庁内の統一的な基準により方向性を検討する必要があります。		
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	ペガサスホール運営検討委員会で検証した内容を踏まえて、より一層の経費削減とペガサスホールの有効利用に取り組み、利用者アンケートなどの意見も取り入れ、ホールの認知度及び稼働率向上を図ります。 個別施設計画では、今までに調査して得た情報（各公民館の現況や利用状況）を元に複合的な情報を整理し、公民館のあり方も含め庁内の統一的な基準により検討課題に取り組みます。			
	指標（予定）	独自	ペガサスホール利用後の満足度（リピート率）	96%
		—		
		—		
		—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																						
	独自の指標①	中和・西和広域連携検討会の開催	実績（値）	5回																				
	独自の指標②		実績（値）																					
	独自の指標③		実績（値）																					
●事業の分析（評価の根拠・理由） 本年度は検討会議を5回開催し、また各施設での主催者および利用者アンケートの実施を行いました。 本アンケートは、文化施設及び体育施設の利用者状況について、対象施設でイベントやグループを運営する主催者と、個人利用を中心とした利用者を対象に行いました。 利用者アンケートの結果の内、施設の利用満足度についての下記のグラフの結果となり、不満があると答えた方の中には「利用料金が高い」、「駐車場が狭い」等の意見がありました。																								
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																								
【利用者満足度アンケート結果】																								
<table border="1"> <caption>利用者満足度アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>満足</th> <th>普通</th> <th>不満</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町文化センター</td> <td>40.0%</td> <td>25.0%</td> <td>35.0%</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>上牧第一町民体育館</td> <td>31.6%</td> <td>50.9%</td> <td>15.8%</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>上牧第二町民体育館</td> <td>17.1%</td> <td>47.0%</td> <td>30.9%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	満足	普通	不満	無回答	上牧町文化センター	40.0%	25.0%	35.0%	1.8%	上牧第一町民体育館	31.6%	50.9%	15.8%	5.0%	上牧第二町民体育館	17.1%	47.0%	30.9%	5.0%
施設名	満足	普通	不満	無回答																				
上牧町文化センター	40.0%	25.0%	35.0%	1.8%																				
上牧第一町民体育館	31.6%	50.9%	15.8%	5.0%																				
上牧第二町民体育館	17.1%	47.0%	30.9%	5.0%																				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																						
	評価の根拠及び理由 対象施設の利用者等の実態を把握し、多角的な施設の現状分析をもとに、共同利用の可能性と広域連携による共同整備・運用を実現するために必要となる項目を整理するとともに、現状の施設管理・運用を模索したところ、共同利用の実現が可能であり、利用者、管理者双方にとって有益であることが判明しました。																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																						
	評価の根拠及び理由 所管課と連携のうえ、町民の利益となるよう調整・連携を行います。																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 所管課と連携のうえ、町民の利益となるよう調整・連携を行います。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	本事業で整理した収集情報の統一書式、自治体間の比較手法、施設整備の各段階で求められる検討課題を踏まえ、引き続き「中和・西和広域連携検討会」を定期的開催し、まずは共同管理・運用の実現を目指して検討していきます。				
	指標（予定）	独自	中和・西和広域連携検討会の開催		3回
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	地域防災訓練の年間支援回数	実績（値）	-
	独自の指標②	子ども防災意識の向上教室の年間開催数	実績（値）	-
	独自の指標③	子ども用災害物資の備蓄品数	実績（値）	20種類
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>▼新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した避難所開設訓練 令和2年9月1日（火） 場所：上牧町役場西館 対象：町職員 避難者の十分なスペースを確保した避難所設営・避難者の受け入れ訓練等を実施し、今般の新型コロナウイルス感染拡大を受け、感染防止対策に配慮した避難所開設訓練を町職員24名が参加しました。</p> <p>1. 避難所設営訓練 避難所用プライベートルームの設置・設営（密にならないように設営） 2. 避難者受け入れ訓練 一般の避難者や濃厚接触者避難者の受け入れ、ペットの持ち込み等 3. 意見交換</p> <p>▼かまどベンチ助成（2件） ▼防災士資格取得（2名） ▼シェイクアウト訓練の実施（本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校） ▼子ども用災害物資備蓄数（20種類）</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 訓練を通じて住民一人ひとりが自分の身は自分で守る「自助」・地域や近隣の人々が協力し合いながら防災活動に組織的に取り組む「共助」に対する支援が求められます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 「近隣自治体との合同防災訓練の実施」や「子ども向け防災教室の拡充」、「乳幼児子ども防災意識向上事業の実施」が必要であると考えます。また、防災士との連携を図り、自主防災組織等が行う防災活動を支援し、防災・減災体制の充実に取り組む必要があります。 今後は、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した避難所開設が求められることから、住民向けの訓練も必要となってくると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 子ども向け防災教室の拡充、乳幼児子ども防災意識の向上として、親子で気軽に楽しみながら参加できる教室等を開催します。開催方法や内容については、災害協定を締結を行っている各団体と相談し、より具体的で子どもにも分かりやすいものにします。 新型コロナウイルス感染症の対策を踏まえた避難所運営訓練（住民向け）を実施し、町民の意識向上を促します。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	▼防災士資格助成 ▼かまどベンチ原材料費助成 ▼防災士と連携し、自主防災組織等への防災活動・訓練の支援 ▼新型コロナウイルス感染症の対策を踏まえた避難所運営訓練（住民向け） ▼子ども用災害物資備蓄品（ライスクッキー等）の購入 ▼保育所・幼稚園への防災訓練（シェイクアウト訓練等）参加促進（呼びかけ） ▼ペガサスフェスタにおける乳幼児救急教室（AED・心臓マッサージ等）の開催				
	指標（予定）	KPI	防災士資格取得支援事業	140人	
		独自	避難所運営訓練	3回	
		独自	地域防災訓練の年間支援回数	3回	
		独自	子ども防災意識の向上教室の年間開催数	1回	
		独自	子ども用災害物資の備蓄品数	22種類	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
町内医療機関との災害時における連携協定に向けて進める予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画通り進めることができませんでした。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 近年増加する自然災害に対し、住民の災害時医療サービスの拡充を求める声は強くなると想定しています。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 町の医師会等との協定締結に向けて、医療機関の関係部局である生き活き対策課との連携を図り、より細部についての構築を進めていく必要があります。また、災害時のペットの治療や一時的な預かり所として動物病院とも協定を締結する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後も町医師会や動物病院に防災訓練へ参加していただくなど、緊急時における連携の強化を行います。また、町内医療機関との災害時における連携協定に向けても進めていく必要があります。				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		災害発生時に即座に対応するため、医師会等の医療機関及び動物病院との協定締結を進め、災害時の救急医療体制の強化を進めていきます。				
指標（予定）	KPI	災害時における連携協定			40件	
	—					
	—					
	—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった															
	独自の指標①	上牧町お知らせメールの登録		実績（値） 1,498人															
	独自の指標②			実績（値）															
	独自の指標③			実績（値）															
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>●災害備蓄備品の整備 災害用テント1張 投光器10台 発電機10台 アルファ米1,400食 粉ミルク6,912食 ビスコ1,200食 カンパン1,216食 飲料水1,200本</p> <p>●災害時における連携協定1件 （株式会社川由 災害における救援物資提供）</p> <p>●上牧町消防団第3分団東部第1分隊消防ポンプ車（CD-1型）更新</p> <p>●災害時要配慮者名簿の登録者数 185人</p> <p>●上牧町お知らせメールの登録者数 1,498人</p>																		
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【災害時要配慮者名簿登録者数及び上牧町お知らせメール登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害時要配慮者名簿登録者数（人）</td> <td>167</td> <td>177</td> <td>182</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>上牧町お知らせメール登録者数（人）</td> <td>458</td> <td>1,153</td> <td>1,329</td> <td>1,498</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R01	R02	災害時要配慮者名簿登録者数（人）	167	177	182	185	上牧町お知らせメール登録者数（人）	458	1,153	1,329	1,498
	H29	H30	R01	R02															
災害時要配慮者名簿登録者数（人）	167	177	182	185															
上牧町お知らせメール登録者数（人）	458	1,153	1,329	1,498															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町民や地域における自助・共助の取組の支援を行います。 災害時に備えて災害用備蓄物資等の充実が求められます。</p>																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>今後も奈良県の地域防災計画の動向を見据えながら進める必要があります。 上牧町の最も被害が多い地震で最大避難者数を約5,800人と想定し、備蓄整備計画を策定しました。目標数に達していない備蓄の整備が必要です。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染症を防ぐためのパーティションや災害用テント等の備蓄を進めます。</p>																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後も上牧町の現況に沿った計画について研究し、県の動向にも注視します。 上牧町の最も被害が多い地震で最大避難者数を約5,800人と想定し、備蓄整備計画を策定しました。目標数に達していない備蓄の整備が必要です。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染症を防ぐためのパーティションや災害用テント等を準備し、安全安心な避難所運営が可能な体制整備を進めます。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	災害備蓄備品の整備については、備蓄食料品のローリングを行い、不足した食料品の補充を行います。 子ども用防災物資においては、備蓄食料品の見直しを行い、より食べやすく、食物アレルギーに対応した補充を行います。				
	備蓄備品や避難所運営において、新型コロナウイルスの感染予防対策を行います。 防災、自主防犯の啓発として、上牧町お知らせメールの登録について広報等を利用して促進していきます。 災害時要配慮者名簿の更新を行います。 防災拠点整備のための検討・準備を行います。				
	指標（予定）	KPI	災害時における連携協定		40件
		独自	上牧町お知らせメールの登録		1,600人
		-			
-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																											
	独自の指標①		実績（値）																																												
	独自の指標②		実績（値）																																												
	独自の指標③		実績（値）																																												
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>ため池貯留浸透事業では、治水対策量21,600m³を目指し、アスガ谷池、ワンダラ池が所在、管理する自治会・水利組合等に対し調査結果を説明し、ため池治水対策事業の協定を締結しました。また、大和平野土地改良区との事業協議についても完了しました。令和2年度については、アスガ谷池、ワンダラ池の詳細測量設計を実施しました。詳細測量設計の結果、治水対策量としては、アスガ谷池（1,390m³）、ワンダラ池（2,450m³）となり、令和3年度における対策工事に伴う設計業務が完了しました。</p>																																															
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																																															
<p>【雨水貯留浸透事業計画工程表】 (単位：m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">最小必要量</th> <th rowspan="2">R01</th> <th colspan="4">目標値</th> </tr> <tr> <th>R03</th> <th>R05</th> <th>R07</th> <th>R09</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雨水貯留</td> <td>1,350</td> <td>2,027</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ため池貯留</td> <td rowspan="2">21,600</td> <td rowspan="2">5,450</td> <td rowspan="2">3,840</td> <td rowspan="2">4,800</td> <td rowspan="2">3,000</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>水田貯留</td> <td>1,500</td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>(計) 流域対策量</td> <td>22,950</td> <td>7,477</td> <td>11,317</td> <td>17,617</td> <td>22,617</td> <td>23,617</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100%</td> <td>33%</td> <td>49%</td> <td>77%</td> <td>99%</td> <td>103%</td> </tr> </tbody> </table>						最小必要量	R01	目標値				R03	R05	R07	R09	雨水貯留	1,350	2,027					ため池貯留	21,600	5,450	3,840	4,800	3,000		水田貯留	1,500	2,000	1,000	(計) 流域対策量	22,950	7,477	11,317	17,617	22,617	23,617		100%	33%	49%	77%	99%	103%
	最小必要量	R01	目標値																																												
			R03	R05	R07	R09																																									
雨水貯留	1,350	2,027																																													
ため池貯留	21,600	5,450	3,840	4,800	3,000																																										
水田貯留							1,500	2,000	1,000																																						
(計) 流域対策量	22,950	7,477	11,317	17,617	22,617	23,617																																									
	100%	33%	49%	77%	99%	103%																																									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																											
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>近年、異常気象による集中豪雨等で災害が各所で発生していることから、奈良県平成緊急内水対策事業等の新たな事業を発足し災害対策を促進されています。ため池や水田、雨水施設などの貯留施設を適地に整備する対策事業を新たに進める方針を掲げていることもあり、ニーズの方向性は増加する傾向にあります。</p>																																														
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																											
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>大和川流域総合治水対策事業の計画達成に向け、奈良県とともに当町が主体となり精力的に事業の推進に力を尽くす必要があります。</p>																																														

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>ため池治水対策の可能性の高いため池（6池）について、自治会並びに水利組合等に調査結果をもとに事業内容の説明を行い事業実施の合意を得て、現況余水吐けの切下げ工法により治水対策を進めていきます。しかし、平成30年度の予備調査業務結果では、上記の工法のみでは目標治水対策量を達成できないとの検討結果となりました。そのため、水田貯留による対策容量を確保する新たな治水対策工法の検討する必要があります。現在の現況余水吐けの切下げ工法による対策が完了した後は、新たな予備調査を実施し目標治水対策容量である21,600m³の達成を目指す必要があります。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>ため池貯留浸透事業として、アスガ谷池、ワンダラ池における貯留施設の対策工事を行います。</p> <p>ため池貯留浸透対策量 アスガ谷池 1,390m³ ワンダラ池 2,450m³</p> <p>進捗状況 令和元年度末現在 5,450m³/21,600m³ 25% 令和3年度末予定 9,290m³/21,600m³ 43%</p>					
	指標（予定）	-	-	-	-	-

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	高齢者対象の自転車用ヘルメット購入費補助件数		実績（値） 38件
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>町内の保育所、幼稚園、小学校に出向き西和警察署と協力して交通安全教室を開催しました。（二小（R2.4.21）、三小（R2.4.30）、上小（R2.5.12）、上牧幼稚園（R2.5.22）、第一保育所・慈光保育園・黎明保育園・やまびこ保育園（R2.5.26）、片岡台幼稚園（R2.6.4））</p> <p>朝の登校時に交通安全の啓発活動及び立哨を実施しました。</p> <p>総務課、教育総務課、まちづくり創生課や西和警察署等による安全確保合同点検を実施しました。</p> <p>毎月1日・15日には、公用車で町内を巡回し、交通安全の啓発も実施しました。</p> <p>高齢者対象の自転車用ヘルメット購入費の補助を行いました。（件数38件 補助金額101,300円）</p> <p>西和地区防犯協議会による防犯電話購入費の補助を行いました。（件数29件 補助金額145,000円）</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>住宅地も増え、交通量が増えることにより、危険箇所や通学路の安全整備が求められます。また、高齢化とともに悪質な詐欺による注意喚起の必要性が求められます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>道路に貼る注意喚起のステッカー（止まれ）で再度認識してもらえるように努めたいと思います。</p> <p>通学路点検・カーブミラーの点検等、安心できるように取り組む必要があります。</p> <p>令和元年10月に「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました。高齢者の自転車用ヘルメット着用の義務化を周知し、着用の徹底を図ります。</p> <p>特殊詐欺等の被害防止に効果的な「防犯機能を備えた電話」の普及促進を図ります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	継続的に町内の幼稚園・保育所・小学校に出向き西和警察署と協力しながら交通安全教室を実施し、幼い命を守るとともに高齢者自転車事故を未然に防ぐよう取り組んでいきたいです。 また、カーブミラー点検及び登校時の立哨、交通安全啓発や県大会及び西和フェスタ参加、高齢者自転車用ヘルメット購入費補助、防犯電話購入費補助につきましても引き続き取り組んでいきます。				
	指標（予定）	独自	高齢者対象の自転車用ヘルメット購入費補助件数		50件
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																	
	独自の指標①	緊急通報装置新規申請件数（世帯）	実績（値）	38件															
	独自の指標②		実績（値）																
	独自の指標③		実績（値）																
●事業の分析（評価の根拠・理由）																			
【医療機関との連携強化】 令和2年10月の1か月間を対象に入退院連携実施状況のアンケート調査を実施したところ、コロナ禍のため通常の連携体制が困難な状況下にもかかわらず、ケアマネジャーと西和地域6病院での退院調整率が前年度の78.5%から92.3%へと大幅に増加しており、ルールに則った連携が図れていることがわかりました。このことから、今までの顔の見える関係づくりや退院調整ルール作り事業等で培われた連携体制が活かされ、医療・介護関係者の連携体制がより強化されていると考えられます。また、「あんしんセット」についても、令和3年度からの導入に向けて西和地域7町の医療機関・ケアマネジャーの意見をもとに予定通り作成しました。																			
【緊急通報見守り支援事業】 令和2年度は年間延べ1,706人（毎月137～150人前後）の方が緊急通報装置を利用し、積極的に緊急通報装置の設置の勧奨を行った結果、令和2年度は38世帯の方の新規申請に結びつきました。また、緊急通報装置を通して年間19件の救急車の要請を行い、日々の健康相談に専門家に対応する相談ボタンは毎月10～15件程度の利用がありました。緊急時以外にも、コールセンターの看護師のアドバイスによりかかりつけ医療機関への受診に結びついているケースもあり、地域包括支援センター・医療機関及び委託事業所の三者が連携し高齢者が安心して生活できるまちづくりにもつながっています。																			
従来の装置（固定電話型）は一部の電話回線を除く固定電話を所持している方のみ利用が限られており、利用を希望しながらも設置できない方がいることを踏まえ、新たに「モバイル型」装置の令和3年度からの導入に向け委託業者と機器の仕様や詳細な使用方法、対象要件、申請希望者への承諾事項等の確認・打ち合わせを行いました。																			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																			
【緊急通報装置利用者数】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規登録者数（人）</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>104</td> <td>123</td> <td>137</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R01	R02	新規登録者数（人）	28	36	35	38	利用者数（人）	104	123	137	150
	H29	H30	R01	R02															
新規登録者数（人）	28	36	35	38															
利用者数（人）	104	123	137	150															
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																	
	評価の根拠及び理由 今後も高齢化率の上昇や独居高齢者・高齢夫婦のみ世帯の増加が見込まれることから、健康上の相談が気軽にでき、緊急時には必ず駆けつけることのできる本事業への需要はますます高まることが予想されます。また、医療や介護を必要とする高齢者も今後さらに増加すると見込まれ、住み慣れた地域での生活を継続するためには関係機関での連携が必要不可欠であり、さらに強化することが望まれます。																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																	
	評価の根拠及び理由 【緊急通報見守り支援事業】 本事業へのニーズは高く今後も増加が見込まれますが、現行の装置では固定電話を所持している方のみ利用が限られており、携帯電話のみ所持している方や現行の装置が設置できない回線を利用している方にも広く本事業を利用してもらえるよう改善する必要があります。																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	【医療機関との連携強化】 病院から地域へシームレスな在宅移行ができ介護が必要な方が安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、平成29年度に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」を策定しました。令和3年度も医療機関やケアマネジャーへのアンケート調査を通して退院調整の状況を確認し、連携への課題の抽出等を検討していきます。また、西和地域7町で共通して使用する入退院に必要な物品を書面にまとめた「あんしんセット」をケアマネジャーを通して介護サービス利用者に配布し、配布後の活用状況を確認します。				
	【緊急通報見守り支援事業】 独居高齢者や高齢者世帯、日中独居の高齢者を対象に、ボタンを押すだけで緊急時の救急車の要請や日常での健康上の相談が可能な緊急通報装置を設置します。利用者には月2回看護師等が状況を電話で確認します。本事業を必要とする方により広く利用してもらうため、令和3年度から従来の「固定電話型」に加え「モバイル型」を新たに導入します。モバイル型の導入にあたっては、これまで希望があっても要件に満たないため利用に至らなかった方に個別にモバイル型の勧奨を行い利用に結びつけます。				
	指標（予定）	独自	緊急通報装置新規申請件数(世帯)		40件

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、上牧町自治連合会による防犯活動出発式を実施することができませんでしたが、防犯ポスター及びのぼりを作成し自治会に配布しました。 また、西大和6自治会による防犯活動出発式、犯罪ゼロ・チャレンジ100日作戦出発式も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 (主な取組) <政策調整課> 上牧町自治連合会による防犯ポスター及びのぼりの作製と配布 <総務課> 防災リーダー育成研修（防災士資格習得人数2人 累計116人）</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>安全安心なまちづくりを支える地域活動として、今後もニーズは変わらないと考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>防犯の強化、担い手の掘り起こしや育成等、今後も安全安心に暮らすことのできるまちを維持していくために、将来的には支援のあり方について検討する必要があると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 自主防犯活動の推進、担い手の確保にあたり、他自治体の取組を参考にしながら支援のあり方について検討を行っていきます。
令和3年度 実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		自主防犯活動の支援を継続することで、町民参画による協働のまちづくりを推進していきます。上牧町自治連合会に対し補助金を交付し、防犯活動の援助を支援します。また、総務課においても引き続き、西大和6自治会をはじめとする地域住民や西和警察署との連携や自主防犯・防犯リーダー育成研修（防災士養成講座）の実施により自主防犯活動を推進していく予定です。
指標（予定）	—	
	—	
	—	
	—	
	—	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった														
	独自の指標①		実績（値）															
	独自の指標②		実績（値）															
	独自の指標③		実績（値）															
●事業の分析（評価の根拠・理由）																		
<p>町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく防犯パトロールの強化を実施しました。防犯カメラについては、前年度に設置したカメラに通信機器の整備を行いました。小学校3校、保育所、上牧幼稚園、片岡台幼稚園で交通安全教室を開催しました。交通安全教室については、年に1度町内の幼稚園・保育所・小学校に向いて、横断歩道や信号機の確認について、子どもたちへの体験活動を行いました。防犯パトロールについては、西大和6自治会と連携して片岡台・桜ヶ丘地区で防犯活動を行いました。LEDは平成25年・26年に18台、平成29年172台、平成30年7台です。交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。</p>																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																		
<p>【防犯カメラ設置台数（累計）】</p> <table border="1"> <caption>【防犯カメラ設置台数（累計）】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>					年度	設置台数	H27	3	H28	6	H29	9	H30	12	R01	24	R02	24
年度	設置台数																	
H27	3																	
H28	6																	
H29	9																	
H30	12																	
R01	24																	
R02	24																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>地域及び住民一人ひとりの防犯意識を高め、悪質な詐欺等から身を守るべく安全で安心なまちづくりのため、町民・警察・行政等が一体となった取組を推進していく必要があります。</p>																	
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない														
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>地域における見守り活動・町からの防犯活動等に積極的に参加していただき、町民一人ひとりの防犯意識を向上させ、町民・警察・行政等が一体となった防犯体制の強化をしていく必要があります。今後は悪質な詐欺等の犯罪が身近に起こっても不思議ではないことだと認識してもらえるように周知していきます。</p>																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>西和警察署と正確な情報・被害情報を共有し、速やかに住民の皆様へ情報を発信することにより、更なる地域の防犯力の向上を図る必要があります。</p> <p>犯罪や交通事故等の発生による防犯カメラの画像データの提供件数が年々増加しています。犯罪の抑止力の向上や早期解決を図るため、今後も防犯カメラによる防犯体制の強化を行う必要があります。</p> <p>令和3年度に6台、令和4年度に6台設置する予定で最終設置台数は36台を予定しています。</p>			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>防犯協議会に参加します。</p> <p>青パトによる防犯パトロールを実施します。</p> <p>悪質な詐欺を未然に防ぐため町民一人ひとりの意識を高め、防災行政無線での呼びかけや広報、町ホームページを通じて犯罪を未然に防ぎ、地域での安全で安心なまちを目指します。</p> <p>犯罪や交通事故等の発生による防犯カメラの画像データの提供件数が増加していますので、犯罪の抑止力の向上や早期解決を図るため、町内に防犯カメラ（6台）を設置します。</p>				
	指標（予定）	KPI	防犯カメラ設置台数		30台
		—			
		—			